

## 海老原恭平

茨城県出身。12歳よりサクソフォンを始める。洗足学園音楽大学を卒業。

在学中にJTアートホール主催「期待の音大生による室内楽コンサート」や横浜みなとみらいホールでの選抜コンサート等に多数出演。

茨城県新人演奏会オーディションに合格、同演奏会に出演。

これまでに2度のソロリサイタルや各所でのライブ活動を行うほか、いばらき文化振興財団の登録アーティストとして、水族館や美術館等の公共スペースでの演奏を行う。

2017年夏、東京室内管弦楽団とグラズノフ作曲のサクソフォン協奏曲を共演。所属するロマンシング・サクソフォン団でインターネットライブ配信を不定期開催。ヤマハ大人の音楽教室講師。



## 芦谷 ゆふ

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽部門ピアノ科を卒業。その後渡米し、奨学金を得てマンハッタン音楽院 (New York) 修士課程を卒業。GPA3.9以上を修めた成績優秀者としてDean's Listに掲載される。

2007年 日本クラシック音楽コンクール 第5位 (1~3位なし) 2008年 ザルツブルクにてモーツァルテウム音楽大学夏期国際音楽アカデミーマスタークラス受講。

同年、大阪国際音楽コンクール全国大会入選

2011年 三鷹・風のホール《室内楽の夕べ》にて、プリマ・ヴィスタ弦楽四重奏団とショパン：ピアノ協奏曲第2番を協演

2012年 ロゼピアノコンクール一般の部B 第3位 (1位なし)

2013年 アメリカ・メイン州にて、ボードン国際夏期音楽祭に参加

同年、銀座・スタインウェイサロン松尾ホールにて《芦谷ゆふピアノリサイタル》を開催

2015年 Passion of Music (New York) 金賞、カーネギーホールにて記念コンサート出演

同年、奨学金を得て、ルクセンブルクにてヴィアンデン夏期国際音楽祭に参加

2016年 Passion of Music (New York) に、ゲストアーティストとして出演

これまでにピアノを渡部由記子、北川暁子、森川有子、木村徹、長谷正一、Elena Rossman、Alexandre Moutouzkyne、伴奏法をJohn Forconiに師事。元マンハッタン音楽院嘱託伴奏員。現在はフリーランスピアニスト、伴奏者として活動、また後進の指導にあたる。

ホームページ: <http://yufuashitani.wixsite.com/yufupiano>



## 桜田 悟

4歳よりヴァイオリンを始める。

小学6年から3年間千葉県少年少女オーケストラ在籍。2012年東京音楽大学卒業。大学在学中にリチャード・ディーキン氏の公開レッスン、マーク・ラミレス氏のマスタークラスを受講。京都国際音楽学生フェスティバル2011参加。

Strings Chamber Unit the Bistro Wのメンバーとして、第2回宗次ホール弦楽四重奏コンクール優勝、及びハイドン賞、聴衆賞受賞。第6回蓼科音楽コンクール室内楽部門最高位(1位なしの2位)。プロジェクトQ第12.13章参加。

これまでにヴァイオリンを脇野真樹、景山誠治の各氏に、室内楽を崎谷直人、大友肇の各氏に師事。

現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団第二ヴァイオリン奏者。

また、the Bistro W(弦楽六重奏)、アンサンブルMega Ne、ぱり3トリオ(ピアノ三重奏)等の常設室内楽団の奏者として演奏活動を行なっている。



## 田代あかり

1989年東京都生まれ。3歳よりピアノを始める。千葉県立柏高等学校、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)を卒業、同大学大学院器楽専攻鍵盤楽器研究領域(伴奏)を修了。

2007年 ヤングアーティストピアノコンクール銅賞受賞。2009年 第18回 ちば音楽コンクールF部門 第3位。2010年 ブタペスト リスト音楽院での交歓演奏会に出演。2012年 東京音楽大学 校友会千葉県支部新人演奏会出演。2014年4月には主宰するピアノユニット「2PF」として2台ピアノによるLIVEを開催、ピアノの可能性を果敢に追求した企画として好評を得る。

これまでにアレキサンダー・イェンナー、マティアス・キルシュネライト、パスカル・ドヴァイヨンのマスターコース受講。ピアノソロを播本枝未子、倉沢仁子、藤田尚、室内楽を土田英介、篠田昌伸の各氏に師事。現在はジャズピアノを丹内真弓、オーヴァトン・リックの各氏に師事。アンサンブルピアニストとしてジャンルを問わず多岐にわたるコンサートに出演、また、イベントプレーヤーとしても活躍中。ピアノ、ソルフェージュ、リトミックの指導も行う。

